



# 石浜だより

台東区立石浜小学校 校長 安藤良介

TEL 03-3875-0031

<http://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310228>

12月、人権月間。 「誰か」 のことではなく 「自分のこと」 として

校長 安藤 良介



毎年12月10日は「世界人権デー」、12月4日から10日までが「人権週間」で、12月は「人権月間」となっています。世界人権デー・人権週間には、人権について考える取り組み・イベントが全国各地で行われます。12月「人権月間」は、誰もが尊重されて人権を守られる社会にするために、改めて人権のことを学び、考え、イベントに参加する機会となっています。

現在、いじめや虐待、性被害等の子供の人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、同和問題、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しており、報道等でも取り沙汰されています。

本校は、長年にわたり、東京都・台東区教育委員会の人権尊重教育校の指定を受け、同和問題をはじめ様々な人権課題にかかわる差別意識の解消を図るための教育を推進しています。今年度の校内研究では、1・2年生は生活科において生活を豊かにしようとする態度を育み、3年生以上は、総合的な学習の時間において、3年生「高齢者」、4年生「障害者」、5年生「ハンセン病」、6年生「同和問題」を扱い、偏見や差別がいかに人を傷付けるものであるかを実感させ、偏見や差別をなくそうとする意欲や態度を育てています。

また、いじわるやいじり、いじめなど差別につながる言動について日々指導しており、早期発見・早期対応の指導や未然防止に向けた取組を続けています。子供たちには、差別を見抜く目を持ち、差別を許さない心と、正しいことを正しいと言えるような差別とたたかう気持ちを育てていきたいと考えています。そのためには、様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、「自分のこと」として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて学び続けることが必要です。これからも、本校の人権教育目標である「自分を大切にする子」「人を大切にする子」「互いの違いを尊重する子」を日々の授業や教育活動の中心に据えて取り組んでまいります。ご家庭でも、この人権週間を機会に人権について考え、話題にしていただけるとありがたいです。

体育主任より

体育主任

11月9日（土）に運動会が行われました。天気にも恵まれ、子供たちの一生懸命な姿やたくさんの笑顔を見ることができた最高の1日でした。運動会全体練習の1回目。「来週から本格的に運動会練習が始まるよ！」と全校児童に伝えると、子どもたちはキラキラした目で、私の方を見ていました。「やった〜！」という声や、ニコニコ飛び跳ねている子もいました。多くの子が運動会を楽しみにしているのだと感じました。そこから2週間、どの学年も一生懸命に練習を積み重ねてきました。本番が近付くにつれ、ダンスが上達していく様子、子供たちの気持ちが高まっていく様子など様々な成長を見ることができました。本番は、悔しい思い、悲しい思いをした子もいたと思います。それでも、本番まで一生懸命、練習に取り組んでいたという努力は大きな力になったことと思います。また、5・6年生は、応援団・高学年リレー・係活動や委員会活動などで、全校を盛り上げ、運動会を支えてくれました。保護者の皆様には、当日までの体調管理やご準備等、たくさんお世話になりました。温かいお言葉もたくさんいただき感謝申し上げます。最高の運動会にしてくれた子供たちに、たくさんの「ありがとう」を伝えたいです。